

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すいっちJr		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		～ 2026年3月末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23家族	(回答者数) 17家族
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～ 2026年3月末日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフが変わらず続けているので、経験は豊富である。	今までの経験を、各スタッフで共有できるように心がけている。	新しい情報の取組に、地域の部会や研修等に参加している。
2	公園や博物館など、外出して体験することを優先にしている。	外出先での懸念事項など、スタッフ間で共有を図る。	新しい体験などの機会がないか、社会インフラの情報に気を付けている。
3	ご家族に寄り添えるような支援を心がけ情報伝達をしている。	ご本人やご家族のお困りごとにてできる限り対応出来るように、管理者を初めスタッフや相談支援員さん等を取り込み、対応するようにしています。	スタッフ間の気づきやご家族への情報伝達などを共有できるようにしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師や理学療法士などの専門的な資格を持つスタッフはいないので、そういった専門的な分野への支援の取組は難しい。	スタッフの確保は、様々な要因から難しい。	既存スタッフで外部研修等により、補えるところは補えるようにしています。
2	幅広い年齢層の利用者がいるのでよりきめ細やかな対応が難しいことがある。	同じ空間内でスタッフや利用者が活動しているので、利用者の中で、どうしても他者が気になり気持ちを抑えられないこともある。	お互いを尊重する機会もあり、良い面もあるが、特性に対する配慮を考えてスタッフが対応するようにしている。
3	保護者間での交流や地域振興等の交流は出来ていない。	限られたスタッフでは対応が難しいこと、またそれほどのニーズもないことから進展はしていない。	外部(市の部会や他の事業所さん)などにご教授頂く機会に取り組んでいく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス すいっちjr

公表日 令和8年5月1日

利用児童

数 令和8年3月31日まで 23家族

回収数 17家族 (79%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	76%	12%	0%	12%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88%	0%	0%	12%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	41%	12%	12%	35%	特に必要性を感じてません	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	6%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	41%	12%	12%	35%	学校で機会があるため	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	76%	12%	0%	6%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	41%	12%	24%	29%	必要ないです。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	82%	12%	0%	6%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	59%	12%	6%	24%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	47%	12%	0%	41%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	82%	6%	0%	12%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス すいっち jr		公表日		令和8年 5 月 1 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	児童が楽しく過ごせる空間を提供できるように限られた中で改善を心がけています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人員配置基準に基づいた配置が行われています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	事業所内はフラットな状態で移動しやすいようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	感染対策や安全に考慮し、清掃や整頓を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	室内18mx9mのバリアフリーな活動ルームで活動し、体調不良や怪我をした時に活用する静養室や従業員事務所の区別は行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	児童の年間目標に基づき定期的に職員の間で話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日常的に保護者様のご要望に応えられるようコミュニケーションを図っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	7と同じくスタッフ間でも日常的にコミュニケーションを図っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	第三者による評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	年間で複数回、必要な研修に参加しています。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	児童の活動や保護者様のヒアリング等から年間支援計画を作成しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	サービス管理責任者研修などで習得した内容を基に大阪府ホームページ資料も参照にして、活用しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員で話し合い、作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	子どもの状況把握を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	5領域に基づき支援をしています。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	各個人の状況に応じて、活動時に工夫を行うようになっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	児童の状況変化により都度対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	一日の活動内容を記載し、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児童の状況変化により都度対応しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインを踏まえ、児童が楽しく活動できるように心がけています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	児童の経過報告を頂き、療育に役立てています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	定期的に研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	今、現在は有りません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	こども部会へ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳等でお伝えしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	保護者様からのご要望があれば、お応えしています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に行っています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	事前にアンケートなどで確認を行っています。		

保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じ行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	保護者様のご意向を鑑みたくうえで積極的な支援は行っておりません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情相談マニュアルに則り、対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月一回、発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報に関しては、写真の使用などは保護者様の同意を確認し対応しています。また、社外秘の徹底を職員に促しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	連絡帳や送迎時に口頭でお伝えしたり、何か気になるころや成長したところ等はご報告させていただいています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル作成し対応しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	ご契約時のアレルギー等に関する確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事前に確認した内容に基づき対応は行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に会議を行い情報を共有しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%			